

## 電磁波研究所 講演・展示のご案内

2016年10月27日(木) 28日(金)  
9:30 - 17:00 (28日(金)は16:30まで)

国立研究開発法人 情報通信研究機構 本部 (東京都小金井市)

～ご来場お待ちしております～

### 講演会

10月28日(金) 9:45 - 10:20

会場 4号館2階 大会議室

航空機搭載合成開口レーダー Pi-SAR2 ～雲や噴煙があっても地表を撮像できる映像レーダー～

リモートセンシング研究室 主任研究員 上本 純平

### 技術展示

最新の研究成果について、デモやパネル展示等により幅広くご紹介いたします。

- ・電波と光の眼で見る地球環境
- ・宇宙天気予報センター(予報会議)の公開
- ・最先端技術を支える高精度な時間と周波数の世界
- ・電波利用環境を守る研究開発



### ラボツアー

研究施設見学により、最新の研究活動をご紹介します。

※ラボツアーは事前予約が必要となります。



#### ■ テラヘルツ波送受信システム：未開拓周波数電波の利用研究

テラヘルツ波は電波と光の間の領域にある未開拓周波数の電磁波で、イメージングや計測、大容量通信、地球大気観測等、幅広い応用が期待されています。本ラボツアーでは、高輝度テラヘルツ光源 (THz-QCL) と 2-3THz 帯の高感度ヘテロダイン受信システム (HEBM) をご紹介します。



#### ■ 宇宙天気予報センター(予報会議)の公開

宇宙天気予報センターでは、世界各国の機関と協力し、地球周辺の宇宙環境の監視と今後の変動予測を毎日行っています。センター内のディスプレイには、様々な人工衛星が観測したリアルタイムデータやコンピューターシミュレーションによる予測値が表示されています。本ラボツアーでは、普段は見ることのできない宇宙天気予報会議の現場をご覧ください。

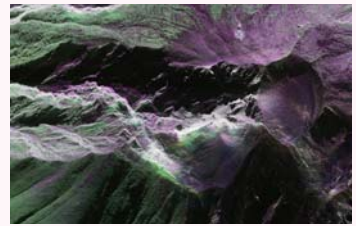
## 電磁波研究所 展示概要

### ■ リモートセンシング研究室

#### 電波と光の眼で見る地球環境

航空機搭載合成開口レーダー (Pi-SAR2)、フェーズドアレイ気象レーダー、ドップラー風ライダーなどを用いた地球環境計測の最新動向を紹介します。

場所: 6号館 1階ロビー 既設展示エリア



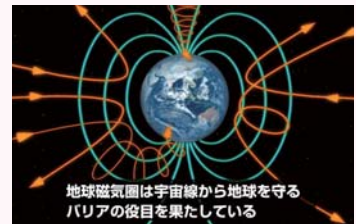
Pi-SAR2 による御嶽山の観測

### ■ 宇宙環境研究室

#### 宇宙天気予報センター (予報会議) の公開

宇宙天気予報センターでは、毎日行っている宇宙天気予報 (予報会議) について紹介します。ラボツアーでは、電離圏・磁気圏・太陽に関するミニ講座、公開予報会議を開催します。

場所: 6号館 4階 宇宙天気予報センター及び会議室



地球磁気圏は宇宙線から地球を守るバリアの役目を果たしている  
地球を覆う磁場のバリア

### ■ 時空標準研究室

#### 最先端技術を支える高精度な時間と周波数の世界

実際の標準時システムをご覧いただくとともに、正確な周波数と時刻を作って測って配るための研究および技術開発の例を紹介します。

場所: 2号館 3階 日本標準時展示室



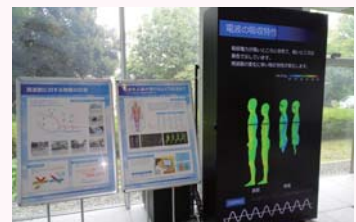
日本標準時計測システム

### ■ 電磁環境研究室

#### 電波利用環境を守る研究開発

電波に関する計測法や計測装置の較正、人体の電波吸収特性を調べるための人体モデルの説明を行います。

場所: 3号館 1階ロビー西側 既設展示エリア



数値人体モデルによる電波の安全性評価

※ご来場の際には公共交通機関をご利用いただけますようお願いいたします。

※当日はスタッフが写真撮影をしています。撮影した写真は Web サイトおよび印刷物等、当機構の広報活動に使用させていただく場合がございます。その他の目的で使用することはありません。

皆様のお越しをお待ちしております。



お問い合わせ先

国立研究開発法人 情報通信研究機構  
電磁波研究所 企画室

Tel: 042-327-7261 Fax: 042-327-7597

e-mail: aer-oh@ml.nict.go.jp

〒184-8795

東京都小金井市貫井北町 4-2-1

JR 線 武蔵小金井駅よりバス 15分  
JR 線 国分寺駅よりバス 10分、あるいは徒歩約 15分  
西武新宿線 小平駅よりバス 15分